

WEEKLY NEWS 2013-2014年度 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

週報 8号 通算 2060回



例会日：水曜日
 第1・第2:18:30～(夜) 第3・第4・第5:12:30～(昼)
 例会場：ルミール華月殿 和歌山市屋形町2-10
 事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁23
 サイバーリンクス N-4ビル 2階
 TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>
 E-mail: a-rotary@coral.cypress.ne.jp
 会長：郷間博敏 幹事：奥村智子
 会報委員長：谷口 拓・副委員長：赤在依美



九度山町の花
《ポタン》

本日の例会
9月4日(水)
18:30～華月殿

ロータリーソング：君が代・われ等和歌山東南ロータリー
 行事：外部卓話「ボランティア活動について」
 眼科 松本クリニック 院長 松本英樹先生

次回の例会
9月11日(水)
18:30～華月殿

行事：I DM発表①
ロータリー情報・規定委員会

先週例会報告

ゲスト：若者サポーターわかやま 田中康之様、斉藤四海様、貴志典生様

会場監督 赤井 誠

会長挨拶

郷間 博敏 会長

先週は仕事の関係上、例会を休ませて頂きました。土・日の雨で少し夜から朝にかけて過ごしやすくなってきました。このまま続いてくれれば宜しいですが、明日くらいから又暑くなるようです。皆様健康には十分お気をつけて下さい。

本日は「若者サポートステーションわかやま」の田中様 卓話をよろしくお願ひいたします。今期ももう2カ月になりまして、大分落ち着いてきましたが、これから本格的に奉仕活動の時期に差し掛かってきました。社会奉仕では芋掘り・枝豆収穫祭が計画され、親睦委員会では東北旅行等皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。



幹事報告

奥村 智子 幹事

- 和歌山中RCとの合同例会のお知らせ
日時：9月27日(金)18:30～、場所：レストラン&カフェ「アルテ」 県立近代美術館2F
皆様のご参加、よろしくお願ひいたします。
- 地区大会のお知らせ
10月26日(土)スターゲイトホテル関西エアポート、10月27日(日)国際障害者交流センター(ビッグアイ)にて開催されます。ご出席されます会員の方は事務局までお知らせください。
- 地区大会記念ゴルフ大会のお知らせ
10月21日(月)関西空港ゴルフ倶楽部にて開催されます。ご参加されます会員の方は事務局までお知らせください。
- NPO 法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー - JAPAN よりアンコール小児病院のポスターが届いております。各テーブルに1部置いてあります。お目通しください。
- 地区より「青少年・ライラ委員会からのお願い」が届いております。各地域でのいろんな活動をされているリーダー的な青少年を推薦していただき、地区大会で表彰。9月30日までに推薦状に記入し、2640地区までお送りください
- 本日例会終了後、定例理事会を開催いたします。役員・理事の皆様、よろしくお願ひ致します。



ニコニコ箱

宇治田堅三 副会計

郷間君・若者サポートステーションの皆様、本日はご苦労様です。
市川君・糖尿で腹半分の粗食で例会場の食事の豪華なこと。



ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援BOX
累計	697,776	0	12,000	5,000

出席報告	出席者	出席率
会員総数	48名	8/28 34名 73.91%
出席免除会員	3名	8/7 40名 88.89%

《委員会報告》

親睦委員会 溝落和作委員長



親睦家族旅行（青森方面）のご案内をします。日時は10月18日（金）～10月20日（日）の2泊3日の予定です。皆様のご参加、よろしくお願いいたします。

「卓話紹介」 郷間博敏会長

過去に当クラブの会員であられた貴志様より、ひきこもりの若者をサポートされているとのお話があり、社会奉仕委員長と相談をいたしまして、枝豆植えに、また収穫祭にもご協力を頂くようになっております。本日は「若者サポートステーションわかやま」のお話を頂くようになりました。よろしくお願いいたします。



外部卓話「ニート・ひきこもりの就労支援について」 若者サポートステーションわかやま 支援員・臨床心理士 田中康之様



1. ニート (NEET) とは

Not in Education, Employment or Training（就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない若者）の略で、元々はイギリスの労働政策において出てきた用語。日本では、若年無業者のことをいっています。若年無業者とは、「15～34歳の非労働力人口のうち、通学、家事を行っていない者」をいいます（厚生労働省）。

総務省統計局「労働力調査」では、ニートの状態にある若者は平成24年で63万人と推計されています。

2. ひきこもりとは

仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態。ひきこもりのいる世帯数は、約32万世帯とされています。「ひきこもり」は、単一の疾患や障害の概念ではなく、様々な要因が背景になって生じます（厚生労働省）。ひきこもり地域支援センターが、相談、他機関との連携等の支援を行っています。

3. 実際の就労支援について

地域若者サポートステーション（愛称：「サポステ」）では、働くことに悩みを抱えている原則15歳～39歳までの若者に対し、キャリア・コンサルタントなどによる専門的な相談、コミュニケーション訓練などによるステップアップ、協力企業への就労体験などにより、就労に向けた支援を行っています。サポステは、厚生労働省が認定した全国の若者支援の実績やノウハウのあるNPO法人、株式会社などが運営しており、平成25年度は全国160か所、和歌山県には3か所（和歌山市、田辺市、橋本市）設置されています。

サポステ利用者のうち、学校でのいじめ、ひきこもり、精神科・心療内科の受診経験のある者が約半数で、環境面で壮絶な体験をしたり、精神面で弱さを抱えたりしている者が多い。このことから、対面コミュニケーションの苦手意識が目立ち、自ら集団場面を避けるなど対人関係の希薄さが見られます。しかし、利用者のほとんどはニート状態にあることに精神的な負担を感じており、現状に対する罪悪感や焦り、不安感を強く抱いていますが、現状を自ら打開する力や思い切りがなく、どうしていけば良いのか悩んでいます。ボランティア活動に参加されると、黙々とではありますがコツコツとまじめに作業をこなします。

支援内容としては、まず個別相談を行い、若者の現状把握と目標を設定します。その目標に向けて、支援プログラムを利用したり、職場見学や職場体験を行います。また、本人とどのように関わっていけば良いのか困惑されている保護者のために、保護者会を開いています。しかし、サポステの認知度もまだまだ低く、見学や体験できる職場の数も限られています。職業的自立を促すためには、職場見学や職場体験などの経験を与えることが必要です。皆様方にはご協力、ご支援をお願いいたします。